



雷の女戦士図鑑4

Adult Only

月神図鑑

LIGHTNING HEROINE 4 ARTWORK



ゲルル...

ゲルル...

ガ

ミッ...

ウエヒヒヒ...
いい格好だな精騎族の力オーラよ...
堪らなくそそる肉体だ...

くう...女の子を触手で
縛り上げるなんて
いい趣味ね...

クィッ



げしよしよしよ……
敗者は大人しく……
犯されるのがならいでゲソ

アッルル…

ええええ！

こんなの……
グロテスクな奴に
辱しめなんで
受けたくない！





ふう〜ふう〜ふう〜
最高の膾肉だったじゃイカ……

ぐっぐん……

うろうろ……
魔獣に中出し
されちゃった……

もう、ヤダあ……

ハア……

ハア……

ん……



マァアッ!

ああ、いい趣味だろ？
こんな姿を見ると
魔羅がたぎってくるんだ……
こんな風にな……

うっ……
そんな汚らしいモノ
見せつけないでよ……

ズズズ…



うおおお……ほっほう……
なんと極上の膾肉なんだ……
さすがは美女精騎族の力〇らよ……

あぐあつ……
うづうづ……

ズツツツツツ…

ヤァァ...

ぬらぬら...
そのおれ...子宮の奥まで
抜き挿しを愉しませて貰おう...

いやあ...
お腹の中まで凌辱されちゃう...

ズポッ

ズポッ♡

ズポッ

ズポッ♡

うほお……我儘できぬ……
そりやそりや……
魔獣精液祭りだあ……

いやあああああ……！

駄目え……射精しないでえ……

ビクッ
ビクッ

ビュルッ
ビュルッ
ビク!



ふうふうふうふう
想像以上に具合の良い膾肉であった……
ウエヒヒヒ……

ハ
ア……

ハ
ア……

ド

ロオ……

はあくあくはあく
こんなスケベ魔獣に
いのように犯さるなんて……





アハハ...

アハハ...

アハハ...

バカっ！放せっ！
魔獣なんか
犯されてた
まにたま
るもんですか！

おいおい...暴れるなっ
しこやか
てれから
やるとい
いうのに

アハハ...

アハハ!



△ヒヨツス!
これは美味そうなおのんこだあ……

バウわあああつ!
バカバカやめなさいよっ!

ドキ

ドキ

アッ!

アッ!

ドキ



ハア...

ハア...

うああああつ!
この最低のゲス野郎!

こんな綺麗な精騎族の女を
犯せるなんて極上の幸せ!

アッキョ...

アッキョ...

アッキョ...

アッキョ...

アッキョ...



ヤアアア!

ビクウ!

嫌や、
あやめ
あめ
アア
アア

ドムッ!

もう限界だあつ!
ムヒヨツス!

ドムッ!

ビクッ!



ウエヒヒヒヒ.....
気持ち良かったせえ.....

ヒクン...

ヒクン...

どろろ.....

ヌチャ.....

ヒクン.....

ぼあはあはあ.....
なんて自分勝手な
好色魔獣なの.....



ちよつと、いい加減に
しなむらぶらぶー!

ヤ
アア..!

ウエヒヒヒ.....
美味そうな尻だな.....
今度はバツクから頂くぞ.....

ニユル...

ニユル...

ニユル...

ニユル...

クチュ...

クチュ...

それは出来ない相談だ……
こんなスケベない肉体を
前にして犯さずにいられようか……

このスケベ魔獣！
変態！ゲス野郎！

イヤア……

ヌッー！

ヒクン……

ヌヌ……





うるさい口だな……
これでもしやぶって貰おう……
おおおっ……

ニギハヤヒ……

んんん!

ポッ♡

ポッ!



うほおおおおお……
口腔内も膣内もなんと気持ちの
良いことか……

うヴオ……
くぶぶう……

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ズッ



おほおっ！
イクぞおおおっ！

きいひやあああああ！

ド
マッ

ド

マッ

ド
マッ
マッ



ヒア...

ヒア...ヒア...

ヒア...
ド

ふう...ふう...
どうだア...
魔獣の精液の味は?

げほっげほっ...
今までで...
最っ低...の味よ...

ド

ク



くう……こんな拘束台に晒すなんて
首でも刎ねる気がしらす？

そげへへ……
そんな物体ない事
するものか

そら……魔獣達よ
皆出て来て
見てやんな……

ダラ……

い……

い……

い……



食べへへへへ……
食い付きたくなるぜ……

ゴロ~~~~

生憎と見世物だ……
魔獣の子孫を作る
公開実験ショーの
始まりだぜ……



ぞぞぞ……

ちよっ……
何をやる気よ……

やめてっ!
見ないでっ!
見世物じゃないわっ!

マイ



うほおおお……
コイツは当たりの
腔肉だあ……
思わず射精……
しかけたぜ……

ズズズ…♡



ビクッ!

イヤあああ! オモ♡

あアン!入ってくる……
魔獣の肉棒が……
あたしのアソコに
侵入してくる……

オモ♡
るん!

イヒヒヒ……
精騎族の娘が
マ○ネロに
犯されていませ



オホツ...ウウウ...
魔獣汁いっぱい...
射精するぜえい...

ヤァァァァァ...!

ドクッ!

ドクッ!

ドクッ...

嫌アアアアア!
ナカに...射精...
しないに...!

ドクッ...

ドクッ...

ふえ〜ん!
気持ち悪いよぉ〜
放してよぉ〜!

ウエヒヒヒ……
可愛い顔して
討伐に来るとは勇ましい……
ご褒美に可愛がってやるっ……

ゲ

ク
110
ア…♡

イツ!



まひいいいいっ!
入る感じがしやあたいでしようねっ!

アッ!

んんん...

ヌヌ...

ウエヒヒヒヒヒ.....
そのまさかだよ.....
今からそのぶっくりおんこに
ヌチュツと入れてあげるからね.....



いやあああああつ！

やめてっやめてっ！
おんちん引き抜いてえっ！

アアアアア！

ビクッ！

ズルチュチュ……

ビクッ！

おふう……
これは……なんた
え
こ持ちは……
フグの……
ルボツの……
キしい……
ちまう……
せ……



あつ……
あはああああつ！

ビクッ
ビクッ

ドムッ！
ドムッ
ドムッ！

なんて……気持ちいい……
マ○コだ……魔獣ザーメン
射精するぜえ！



はあはあはあ……
酷いよ……魔獣の精子
いっぱい注がれちゃった……

ハア……
ハア……

ド
ロオ……

ウエヒヒヒ……熱くてプリプリの
魔獣精液……いっぱい射精したぜ……





げしよしよしよ.....
俺様に勝とうなご
十年早いでゲソ.....

くう.....!
こんなフザケタ奴に
負けるなんて.....

ぐわ.....

ガク...

ヌリユリ...



まずはお尻の割れ目で
ぷっくらりお肌の感觸を楽しんでゲソッ
おほおお……尻こキ最高っ！

ズリ…
ズリ…

いやあああ……
きい気もち……
悪いよお……

ズズ…



げしよあ~~~~!!
なんとも気持ちいい~い腔肉じゃないか!

ぬみみみ...

いやあ~~~~!!
何よコイツ!

ビクッ

ビクッ!



げしよしよっ！
イクでゲソ！

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

いやあああっ！

きてるっ……
子宮の奥に
射精されてるっ！

ビクッ！

ヤッ……

ひゃひゃっ！これはいい……
柔らかい腔肉が俺のペニス触手を
締め付けてくるぞお……

うう……くうう……
魔獣子のポなんかに
負けたりしないんだから……

ヒクン！

ヌグググ……

ググ……



ひゃひゃひゃひゃっ！
清纯な顔をして淫乱な肉体をしておるわ！
ピストン運動が止まらないぜえ！

あくう！
ひいあああつ！

リア...

リア...

ズホッ

ズホッ

ズホッ

ズホッ

クチュッ

クチュッ

そらあ！
魔獣精液を大噴射だああ！

うはくううううう
ううううううう
ううううううう

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ドムッ
ドムッ
ドムッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ



うひいはいくく！
最高に具合が良かったぜええ！

うごうごう……
やっぱり魔獣子のポには
勝てなかつたよお……

ハア……

ハア……

ゴポ……

どろろ……

ゴポ……



ぐへっ……
可愛いお口も
ぶっくりおま○んじも
美味しそうだあ……

ズズ……

ちよつと！
この触手を解さなわらう！

ズズ……



ウブッ!

うおおお……
口腔内も膣肉内も
ぬくるぬくるの
ぐちゅぐちゅだあ

ヌズッ!

ううううー!
くはううううー!

クッ クッ...

そりゃあー!
魔獣汁祭りだあー!

ブリクッ!

ブルムツ

ひーまのあああー!

ブルムツ

ヒクッ!

ブルムツ



ぐへへへへへ……
汁化粧で一段と
猥らな美少女になつたぜえ……

ハア……

ハア……

くうううう……
こんな得体の知れない
触手モンスターに
犯されるなんて……

とっ
る
オ……

ゴポ
ゴポ



ふふふふ……
さあ、王女よ……その麗しい唇で
我が肉筒を慰めてもらおうか……
うっ……

なんて雄大な大きさの肉棒かしら……

ドキ……

ドキ……

キニー……



ちゅっ……はむ……
くちゅちゅ……

おほう……
さすが王族の高貴な唇……
柔らかく……温かい……
上級のシルクのような……

ハム…

フュ…

ぷ
るん♡



あぶっ……くびくび……ちゅっ
（お口に頬張りきれない……）

おおおうっ……
柔らかく濡れた口腔内だ……
思わず果てそうになるほどの
快感だぞ……王女よ……

ハッ……ハッ……

ちゅっ……

ちゅっ……

ぶっ……

ぶっ……



くちゅめ……うっぴゅ……くはあっ！
(そんな「激しく……はれたら……」)

た、溜まらぬ……
思わず……野生の獣のように
腰を振ってしまおう……

ニア……ニア……

くちゅめ……

くちゅめ……

グ……ム……

ユザン ユザン



けほっけほっ……
はあ——っはあ——っ
これで……満足ですもの？

余りの気持ち良さに
少々手荒になってしまった……

トロ……♡

ハア……

ハア……

ハア……





嗚呼……酷い……
衣服をビリビリに
破るなんて……

ムム……

アムムル……

ドキ

アムム……

ドキ

アムム……

ドキ

アムム……

アムムム……

ドキ

ブ○○○○○○○○……
衣服を引き裂いた方が
興奮するのでね……
実にいい牝の肉体だあ……



頂く……
無理強いさせて
潜ながら
僭越ながら
ジユ○エツタ
その通りだ
ブ○□□□□……

ヌヌヌ...

ヌメ...

ヒヤッ!

グイッ!

ヌメ...

ヌメヌメ

嫌あああ……
入れるの？
その棒を……
肉棒を……
私の陰に
挿入して
しましますの？

ぐほおお.....
なんと素晴らしい膣肉だ.....
流石は王族の女陰だ.....

ヌ

ガ
チュ!

ビクッ!

ビクン!

キヤアアアツ!
イヤアアアツ!



いあ……
あ……
いい……
下……
ま……

ンあつ！
ひゃううう！

ずほ、
ずほ、

ずほ、

プルン！

ずほ、

あ！

プルン！

ずほ、

ずほ、
ずほ、

あん！
ぞ！

可愛そうだが王女……
貴女の膺肉は……
牡の本能を狂わせる……





おおう！
射精しますぞっ
王女おお！

どくどく

どくどく

どくどく

やあア

ぐぬ

くはああっ！
だく駄目え！



白濁液で汚されても
毅然とした美貌……
さすがだ……王女……

グポ……

グポッ!

びくん♡

ハァ……

びくん♡

びくん♡

ハァ……

はあはあはあ……
うはあ……
酷いです……

グイッ!

精騎族と人間の
混血である
魔王ジュリエッタよ……
魔族との子孫を
残すためだ
堪えてくれだ……

そんな
なんて身勝手な
理屈……



うへへへ……
女王様の玉のお肌は
柔らかく……

く
うっ……

さわっ♡



乱交をしようと
肉体が活性化され
妊婦がしやすいと
風聞を聞いた……
試してみようでは
ないか……

うう……
そんな風聞は
迷信です……

アア……

ギニ!

アッ!
魔王様っ!
こちらはスタンバイ
OKでやんす!

おおおおお……！
さすがは王族の姫君……
何度まぐわつても
この腔壁は至高の
愉悦である……

うづうづ……！
ぐづぐづ……！

ズッ……

ブルブル……

ギャッ……

うひょ……
王女にフェラチオして貰うなんて
光栄のいたりでやんす



くまのふらふら……
風間通り乱交の方が
良い壁の締りが
良い気がする……

清楚な顔をして
案外と淫乱の気が
あるのかな？

はびびる……
うぐぐぐ……
（そんな事……
ありませんわ……）

ニア……

ニア……

又フェツ!

又フェツ!

又フェツ!

又フェツ!

又フェツ!

ふ、ふ、ふ……!

ググッ

ふ、ふ、ふ……!

ググッ

うはっ……お口のなか
最高の麻草がわびや……





ぐふっ！
射精するぞっ！
女王よっ！

ひゃあああ！
うふううう！

ドムッ！

ドムッ..

ドムッ！

ドムッ

であっしも果てる
でやんす



ふう~~~~

許してくれとは
言えんが.....

理解して
欲しい.....

ふうふう.....

酷いですわあ.....

ドゥ.....

ドゥ.....

!!ア.....

えがった~~~~
役得でやんす~~~~

くびれた腰から豊満な臀部に至る
ラインのなぐんと艶やかなことか
さすがはジュリエッタ女王よ……

ウウウ…

ドキ

ドキ

アリン!

そんな褒め言葉よりも
いかにこの触手の縛めから
解放して下さいませんか?





まなつ
まさか.....!

アッアッ...

アッ...

それは出来ない相談だ.....
我が配下の触手魔獣の
魔羅触手も乙なものだぞ??

ズイッ

あぶらうじうじうツツ!

ググツ!

おおおおお……
膣壁が肉幹に絡みつく……
触手魔獣も喜んでおるぞ……

グググ...





うづぶぶっ！あぶあうぶっ！
（嘘よ！そんな事っ！）

ニムッ
ニムッ

ふふふ…嫌がりながらも
貴女のおんこは濡れ始めておりますぞっ！

ヌキョッ

チュッ！

ズキョッ

ズポッ！



ふう~~~~~!
さすがはシュウエツタ王女……
なんと極上の淫肉体であるか……

リア……

ドロ……

リア……

はあくくはあ~~~~
ふう~~~~~
酷いわあ……

ドロ……



やったああ……
美女二人ゲットだぜえ……

あん!

まゃあっ!
なごコレ……

うう……

くう……放しなごっ!
……

るん!

……

……

……

……





きやあああああーアソコト.....
アソコに入ってくるう.....

アッ!

アッ!

はぐううう.....
やめなさいっ!

ビクッ!

ビクッ!

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ヒツヤハア〜！
なんて具合のいい膣肉だあつ！

お願い……さっさとやめてえ……

ヒアア……

ダメエ……

こんな触手魔獣に
いよいよにされるなんて……

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！





イヤあああああッ!

ビクッ!

ビクッ!

ブルブルッ!

ブルブルッ!

ひゃああああッ!

いいぞっ射精るっ、射精るっうっうっ!

ビクッ!

ビクッ!

ドゥ
ドゥ
ドゥ

ド
ド
ド...

うげほっげほっ.....
うづつげほっ.....
汚いよう.....

くう.....こんなスケベ魔獣に
いらんわい！とされるなんて.....



ウエヒヒヒ……
女王様とイOTAちゃんの
ダブルおOんこだあ……

コラア……
この触手を
解きなさいっ！

うう……

ああ……
身動きが出来ませんわ

ヌル……

むちゅ……

ん♡

ヌル……

ヌルル……

これからこの魔羅触手で
ダブルおんこを
可愛がつてあげるからね〜

ちよっ！
やダあ……

ヤアア……

お願いです
イ○タさんだけでも
堪忍してください……

ヌッ！

ヌッ！



そんな……勿体ない
私よりも王女様を助けて……
きやぶう……！

ヤァ♡

ア♡

ひあああああつ！

ヌ
プ
プ
プ
……

おふう……
ダブルおのんこは最高だぜっ！



駄目あ……あふつ……
激しい……いん……
ん……いい……いい……!

ア……ン……

ヒ……ア……

ア……ア……

は……ん……う……つ……
……い……や……つ……
……どう……して……こ……ん……な……い……
……ひ……や……あ……う……!

ウエヒヒヒ……
興奮するぜえ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

うおおおおっ！
これは堪らん！射精するぞあー

いやあアアアッ！

アアッ！

アッ

はっはっはっ……んん！



あいいい〜
ダブルおんこ…こっぴつあんどすー!

はあ…はあ…
クスン…好色魔獣に
スペルマいっぱい
射精されちゃったい…

ハア…

ハア…

ハア…

はあ…はあ…はあ…
私も…射精されて
しまいましたわ…

ズ

ハア…

